

つるおかならではの図書館

●5つの分館(ぶんかん)

ふじしま はぐろ くしびき あさひ あつみ ぶんかん
藤島、羽黒、榎引、朝日、温海にある5つの分館

は、今までどおり地域を理解し、支える図書館サービスを行います。新図書館の整備にあわせて、分館もさらに便利にしていきます。



●移動図書館(いどうとしょかん)「やまびこ号」

かだし へんきやく せってい
貸出や返却を行う場所を多く設定し、子どもやお年寄りなど、図書館まで一人で行くのが大変な市民も本が読みやすくなるようにします。



●郷土資料館(きょうどしりょうかん)

きょうどしりょう てんじ しょうかい れきし
多くの人に郷土史料を展示・紹介して、歴史と文化が根付いた鶴岡らしさを支え続けます。

●くらしがよりゆたかになるために

としょかん
図書館といっしょに作ることで、よりみんなが楽しく過ごすことができるものをこれから考えていきます。例えば、公民館や子育て支援施設などが考えられます。



新図書館整備事業基本構想(しんとしょかんせいびじぎょうきほんこうそう) 概要版(がいようばん) こどもむけ

【発行(はっこう)】 鶴岡市立図書館(つるおかしりつとしょかん)・郷土資料館(きょうどしりょうかん)

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町14番7号

TEL: 0235-25-2525 FAX: 0235-25-2526

MAIL: library@city.tsuruoka.yamagata.jp

URL: <https://www.city.tsuruoka.lg.jp/bunka/lib/index.html>

新しい図書館をつくるための

考え方をまとめました

学び 出あい 育つ みんなでつくる つるおか図書館

図書館は、みんなが新しいことを学ぶことを手助けする大切な場所です。

気軽に来られて、安心して楽しく過ごせる場所とすることで、

みんなの暮らしがもっと豊かになることを目指します。



鶴岡市立図書館
イメージキャラクター「リードン」
©Tsuchida Yoshiharu



鶴岡市立図書館イメージキャラクター「ヨンデル」
©Tsuchida Yoshiharu

なぜ図書館をあたらしくするの？

●いまの図書館の状況（じょうきょう）

今の図書館本館のたてものはできてから40年がたちました。その間に本や資料が増えて狭くなり、古くなって雨漏りするなどの問題が出ています。また、車を止める場所が足りなかったり、どこにあるのか分かりにくいともいわれています。

図書館（本館）1階にある本
75,353 冊



本館にある全ての本のうち **約27%**
全体 277,700 冊
(絵本・児童書は 64,715 冊)

※その他の本は、スペースが足りないため、みんなが
普段は入ることのできない閉架書庫にしまっています。

貸出冊数（本館）は？
年間 338,680 冊



鶴岡市の人口1人あたりで見ると
年間に 3.35 冊
(県内8都市で比べると6位)

みんなはどうおもっているの？

●いけんこうかんの方法

- ・テーマについて話しあう図書館ミーティング
- ・アンケート
- ・小学生イベント
- ・図書館ナイトツアーでの作品募集

テーマ「こんな図書館あったらいいな♪」

●みんなの意見から見えてきた大事にしたいこと



つるおかは
まな
学ぶことを
だいじ
大事にしてきた

本との出あい
つう
本を通じた
人との出あい

いろんな人が
安心して
過ごす居場所

子どもの読書と
まな ささ
学びを支える場

ちいきしりょう
地域資料を
あつめる、まもる、つかう

つるおか図書館の目標

学び 出あい 育つ みんなでつくる つるおか図書館

- ①まなび** たくさんの本や情報を集めて、みんなが勉強したり、仕事をしたり、暮らしに役立つようにお手伝いします。
- ②であい** 本を読むことで、新しい本や人との楽しい出あいを作ります。そして、みんなで仲良く助け合える地域を作ります。
- ③いばしょ** 勉強したり、新しい友だちを作ることもできる、だれでも安心してすごせる場所を作ります。
- ④こども** 子どもや家族が楽しく安心できる場所を用意します。いろいろな学びを楽しめるように応援します。
- ⑤きょうど** 鶴岡の歴史や文化を守るため、大事な資料を集めて、保存・活用し、その素晴らしさを伝えていきます。



図書館のやくわり

まなび

であい

いばしょ

こども

きょうど

こんなことができれば…

- ・学び、仕事、暮らしのための本や情報を見ることができる
- ・調べ物をサポートする充実したサービス
- ・様々な本との出あいや、本を通じた友達とのつながり
- ・おはなし会など、様々な楽しめるイベント
- ・静かに読書や勉強ができる
- ・家族や友達とおしゃべりができる
- ・飲んだり食べたりできる場所がある
- ・子どもにとって過ごしやすい
- ・郷土史料にふれあう機会（こども向けイベント）

こんな場所があれば…

- ・本を手にとって見ることが出来るスペース
- ・物知りでやさしい司書がいるレファレンスカウンター
- ・絵本や児童書の展示スペース、紹介コーナー
- ・おはなし室、イベントスペース
- ・学生向けの読書スペース、勉強スペース
- ・おしゃべりができる、少しにぎやかな場所
- ・お弁当を食べながら休憩もできる飲食スペース
- ・子ども向けのトイレなど
- ・わかりやすい郷土史展示コーナー